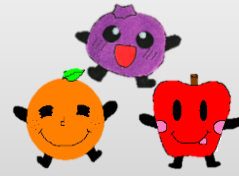


令和7年6月30日

# 坂 さかもと



ささえあい、かんがえあい、もっとふかく、ともにまなぼう  
横浜市立坂本小学校 校長 松比良 聡夫



## 7月 心を育む体験を

梅雨空の合間に見える青空が、少しずつ夏の訪れを感じさせる季節となりました。校庭やプールからは、子どもたちの元気な声が聞こえてきます。

6月のある日、5組の子どもが

「副校長先生、さなぎがチョウになったので見に来てください。」

と、笑顔で声をかけてくれました。教室で大切に育てていたアゲハチョウのさなぎが、ついに羽化したのです。

幼虫から毎日世話を続けていた子どもたちは、羽を広げたチョウの姿を見て、とても嬉しそうな表情を浮かべていました。葉を食べる様子をじっくり

観察したり、1年生の子が『はらぺこあおむし』の絵本を幼虫に読み聞かせたりと、それぞれが愛着をもってかわってきました。

ある朝、容器の中で育てていた幼虫が教室内を移動し、机のわきでさなぎになっていることに、子どもたちが気が付きました。それからは、うっかりぶつかってしまわないように注意しながら、羽化の瞬間まで大切に見守り続けていました。

生き物を育てる中で育まれた優しい気持ちや、「この感動を誰かに伝えたい」という思いに、子どもたちの豊かな心の成長を感じることができた、心温まるひとときでした。

このように、子どもたちは日々、さまざまな人・もの・こととの出会いや経験を通して、大きく成長しています。さて、今年の夏休みは、7月19日から8月26日までの39日間あります。夏休みは、心も体もさらに成長できる貴重な時間です。自然とのふれあい、読書、自由研究、家のお手伝いなど、日々の体験の中にも、たくさんの学びがあることでしょう。長い休みの間も、生活リズムを整え、健康と安全に気を付けながら、充実した毎日を送ってほしいと思います。そして、学校が再開する8月27日には、一回り成長した子どもたちに会えることを楽しみにしています。

